

2023年2月2日

西武バス株式会社

令和4年度

「彩の国埼玉環境大賞」において優秀賞を受賞

公共交通機関として取り組む地球環境負荷軽減に向けたチャレンジが高く評価

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：塚田正敏）は、埼玉県などが主催する「令和4年度彩の国埼玉環境大賞」において、当社のSDGsなど環境・社会・経済の統合的な取り組み内容が高く評価され、事業者部門の優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。

西武グループでは、経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。当社においては、特に環境領域において、CO2排出を抑制し地球環境負荷を軽減するために、2019年より、環境に配慮した燃料や車両の導入など、公共交通機関として従来無かった新たなチャレンジ施策を積極的に推進しております。

〈当社における主な取り組み〉

- ・路線バスにおいて、ユーグレナ社が製造する次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」を導入
(2020年9月より使用開始。東京都・埼玉県内の路線バスにおいては初)
 - ・軽油ではなく水素を燃料とし、走行時に環境負荷物質を排出しない性能を有する燃料電池バスを導入
(2020年12月より運行開始。東武バス株式会社とともに埼玉県においては初)
 - ・廃食油等を原料とする「リニューアブルブルーディーゼル（RD）」を導入したバスの運行を開始
(2022年7月より運行開始。営業運行する旅客自動車でのRD燃料の使用は国内業界においては初)
 - ・アイドリングストップの実施、おだやかな発進と加速などによるエコドライブの実践
- ※このほか、普及が進んでいる、災害時に外部に電力供給が可能なEVバスの導入も検討しております。

今後も、事業を通じた環境の保全に貢献することで自然環境や大気、水資源などに配慮するとともに、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションをはかることによって、地域・社会の一員として信頼される企業となり、持続的な成長を実現してまいります。

【ご参考】

彩の国埼玉環境大賞は、他の模範となる優れた環境保全の取組等を行う県民団体、個人及び事業者を埼玉県知事が表彰するもので、身近な自然の保全活動、省資源・省エネルギーなどの地球温暖化に配慮した活動、資源循環型社会の構築につながる活動、SDGsにおける環境分野のゴール達成につながる事業、脱炭素や環境負荷低減につながる事業手法や製品を展開した事業などが評価対象です。

主催：埼玉県・株式会社テレビ埼玉・埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

※2023年2月9日に知事公館において、表彰式が開催されます。

(ご参考)

●「西武グループ サステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。特に、事業を通して創造する社会価値として「4領域と12アジェンダ（重要テーマ）」を設定し、積極的に取り組んでいます。



詳細ページ <https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>

領域	アジェンダ	貢献するSDG s
安全	安全安心	
環境	温室効果ガス削減	
	廃棄物削減	
	水資源の確保	
	森林や生物保護	
社会	沿線・周辺自治体活性化	
	ユニバーサルデザイン対応	
	少子高齢化	
会社文化	働き方改革	
	多様な人材雇用	
	従業員教育・管理	
	コンプライアンス	